

2013年5月23日

2013年3月期 通期

(2012年4月～2013年3月)

# 連結決算説明資料

株式会社MCJ

東証マザーズ:6670

## Contents

- 1. 決算ハイライト ▶▶▶ P. 2
  
- 2. 経営方針・事業体制 ▶▶▶ P. 12  
及び2014年3月期の見通し

## 連結業績サマリー

## M&amp;A効果もあり5期ぶりに増収を達成するも、減益

## 累計期間（4～3月）

- 第2四半期よりグッドウィルを連結に取り込んだこともあり、5期ぶりに増収
- 販売単価下落、仕入価格上昇等により粗利率が低下し、各利益とも減益

	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期	対前年比
売上高	80,238	85,536	+ 6.6%
営業利益	2,373	1,524	- 35.7%
経常利益	2,615	1,737	- 33.6%
当期純利益	1,741	1,054	- 39.4%

(単位:百万円)

## 会計期間（1～3月）

- グッドウィル買収効果に加え、年度末の販売も好調であったことにより大幅に増収
- 増収の一方で固定費を抑制し、営業・経常増益

	2012年3月期 第4四半期	2013年3月期 第4四半期	対前年比
売上高	21,764	24,227	+ 11.3%
営業利益	484	773	+ 59.9%
経常利益	464	872	+ 87.9%
当期純利益	541	446	- 17.6%

(単位:百万円)

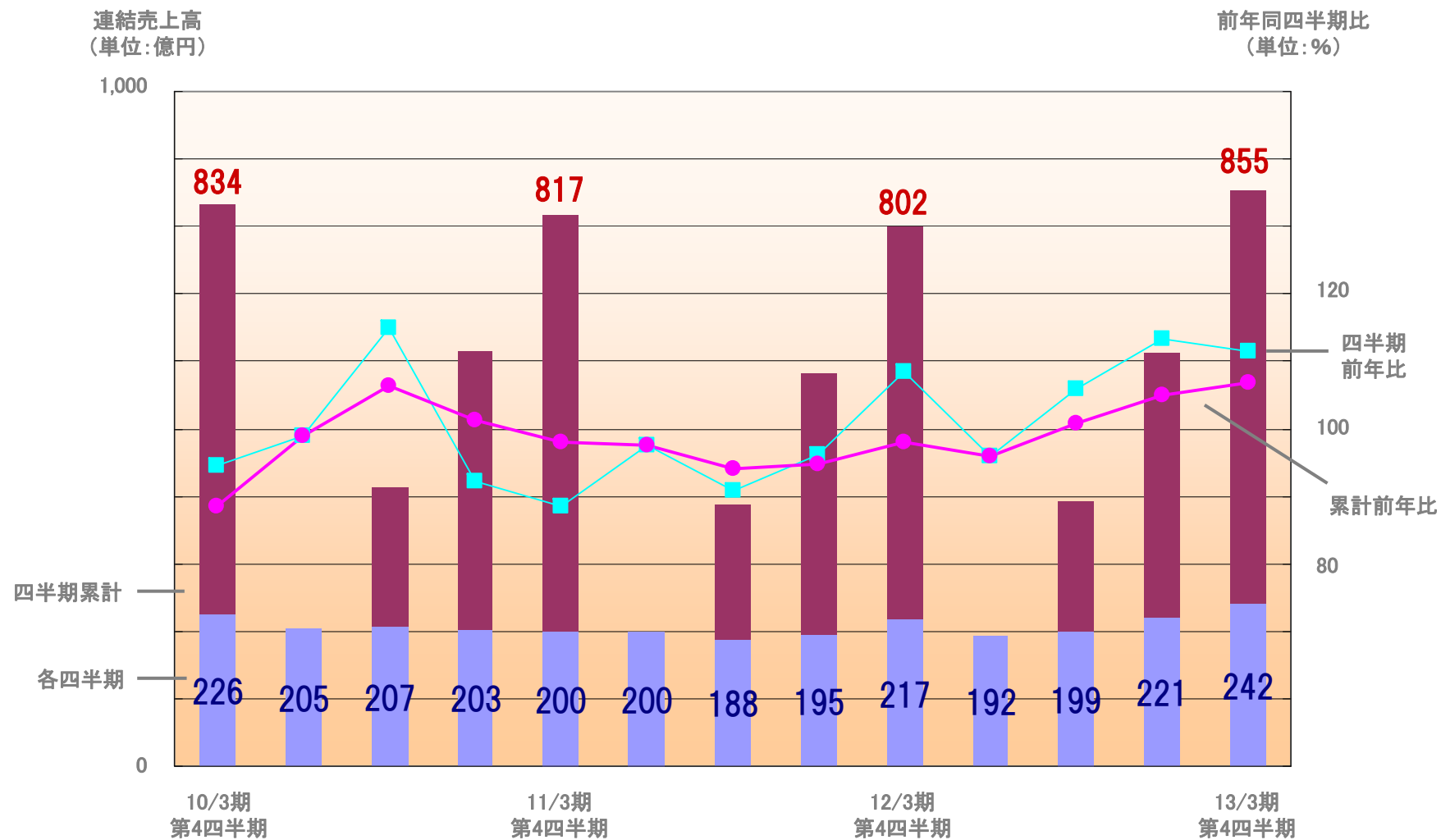
## 第4四半期で挽回し、ほぼ通期予想どおりで着地

	2013年3月期 通期 実績	2013年3月期 通期 10/30修正予想	進捗率
売上高	85,536	85,279	100.3%
営業利益	1,524	1,478	103.1%
経常利益	1,737	1,767	98.3%
当期純利益	1,054	1,104	95.5%

(単位:百万円)

連結売上高推移

増収基調を維持し、四半期売上は4期前の水準を回復

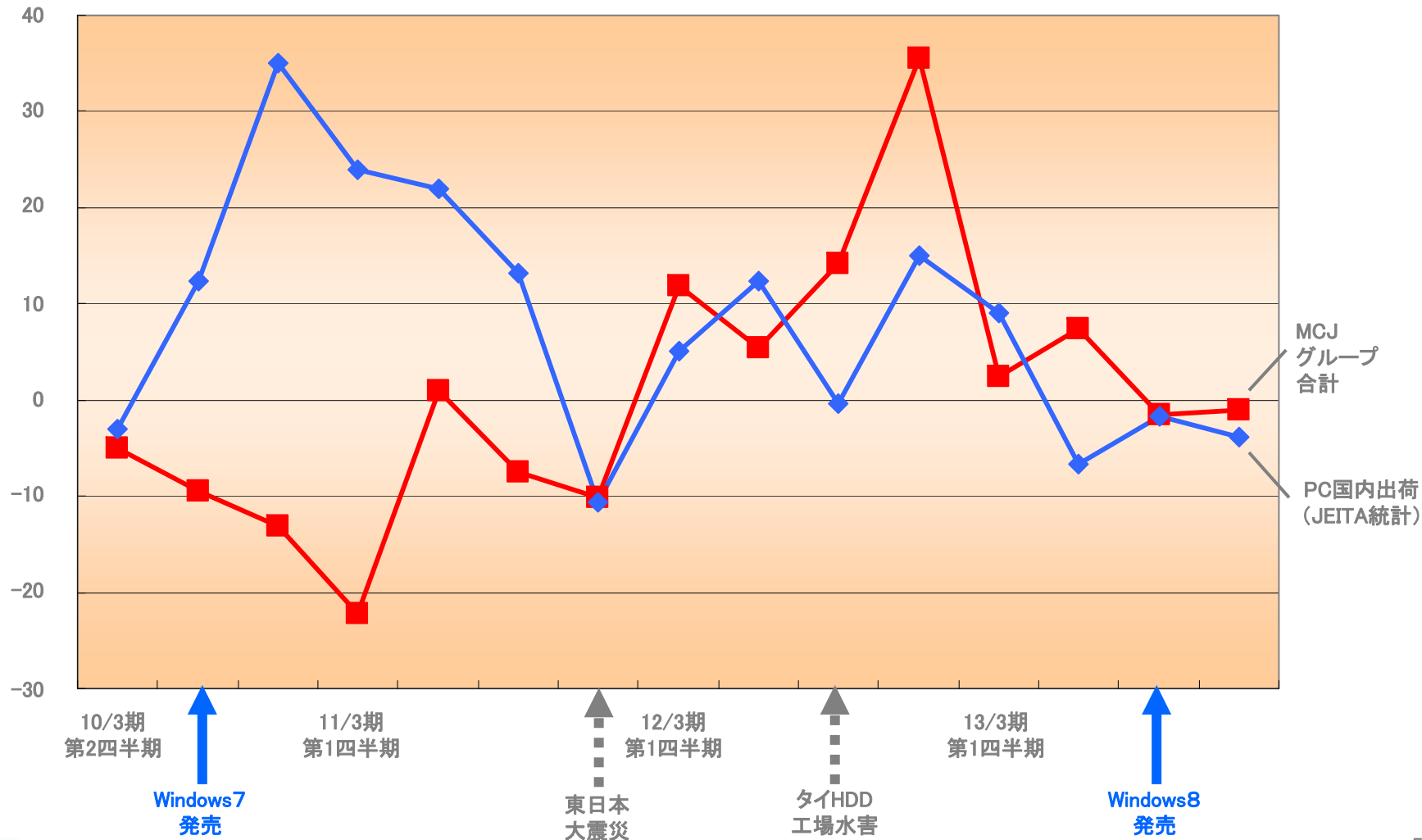


PC出荷台数

PC出荷台数は前年割れながら市場平均は上回る

前年同四半期比  
(単位: %)

PC出荷台数前年比



## 連結業績前年比

## 粗利率の低下により各利益率が低下

	2012年3月期 通期		2013年3月期 通期		前年比 増減	
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	売上対比
売上高	80,238	100.0%	85,536	100.0%	5,298	—
売上原価	65,339	81.4%	70,838	82.8%	5,499	+ 1.4%
売上総利益	14,899	18.6%	14,698	17.2%	△ 201	- 1.4%
販管費	12,525	15.6%	13,173	15.4%	647	- 0.2%
営業利益	2,373	3.0%	1,524	1.8%	△ 848	- 1.2%
経常利益	2,615	3.3%	1,737	2.0%	△ 878	- 1.2%
税引前純利益	2,482	3.1%	1,645	1.9%	△ 837	- 1.2%
当期純利益	1,741	2.2%	1,054	1.2%	△ 687	- 0.9%

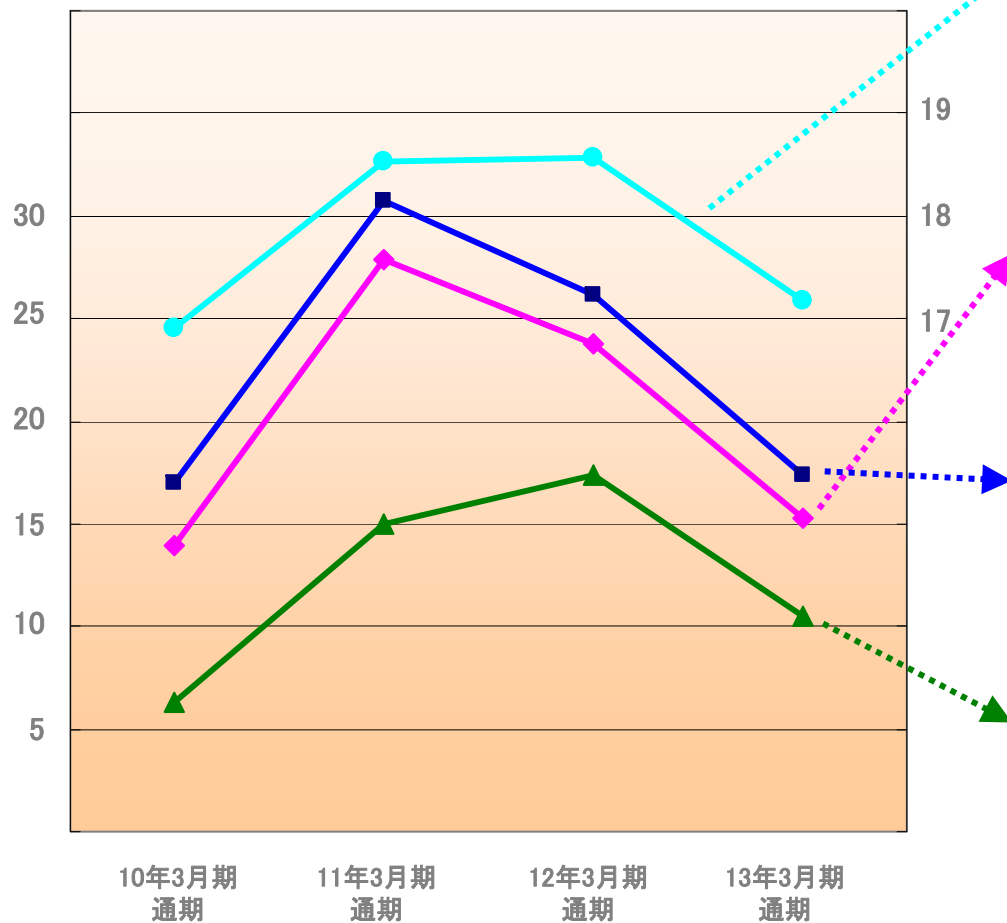
(単位:百万円)

連結利益推移

粗利率低下で、営業・経常利益は3期前の水準に

累計利益額  
(単位:億円)

粗利率  
(単位:%)



粗利率 17.2%

- 販売単価下落、仕入価格上昇により、粗利率低下
- 市場低迷により、主要取引先に対する売上値引も増加

営業利益 15.2億円

- グッドウィル買収により店舗固定費が増加
- 販管費率は前年比で低下

経常利益 17.3億円

- 営業外収益は主に受取手数料と受取賃貸料
- 円安により95百万円の為替差損計上

当期純利益 10.5億円

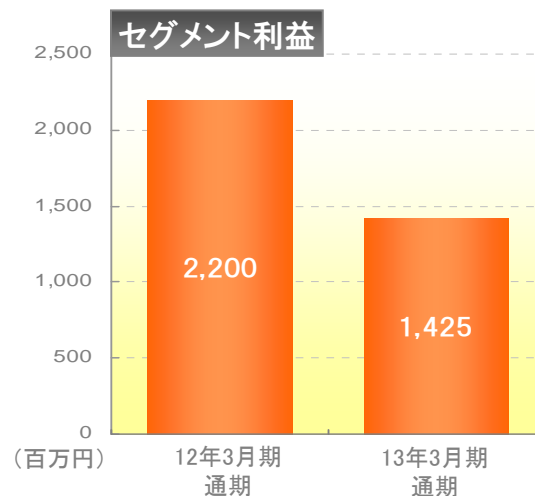
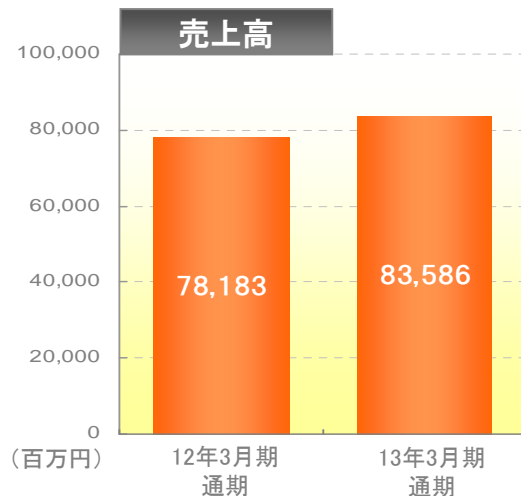
- 店舗関連での特損を計上



セグメント情報

PC事業は増収減益、メディア事業は減収減益

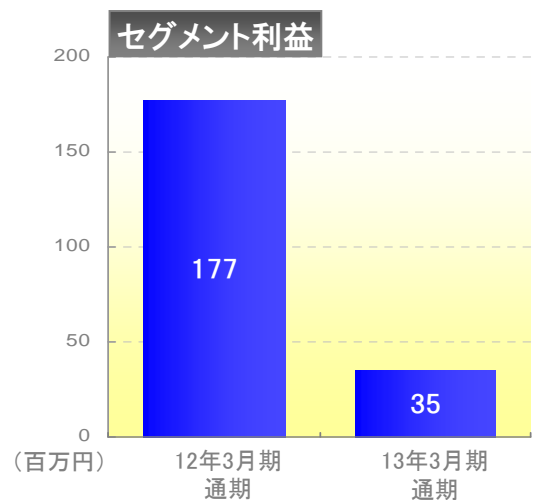
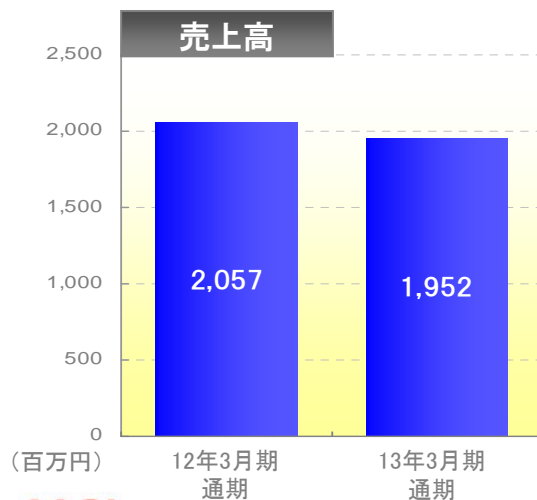
■ パソコン関連事業



主な要因

- グッドウィル買収効果に加え、年末・年度末の販売が好調
- 上期は主に販売単価下落、下期は主に円安に伴う仕入価格上昇により、期を通じて粗利率が低下

■ メディア事業



主な要因

- 出版市場の縮小が続く中、新刊本を積極的に投入したが、年賀状関連書籍の需要が低迷
- 新OS・オフィスソフト発売にも係らず、PC書が全般的に低調

## パソコン関連事業

## PC事業主要各社の2013年3月期業績

## ■ マウスコンピューター(単体)

	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期	対前年比
売上高	19,700	20,184	+ 2.5%
経常利益	509	123	- 75.7%
当期純利益	288	156	- 45.8%

(単位:百万円)

■ PC販売は好調ながら粗利率低下

## ■ テックウインド(単体)

	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期	対前年比
売上高	24,903	31,159	+ 25.1%
経常利益	268	487	+ 81.8%
当期純利益	122	329	+ 169.1%

(単位:百万円)

■ 全般的に販売好調。増益には為替差益・配当含む。

## ■ iiyama Benelux(単体)

	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期	対前年比
売上高	9,156	9,027	- 1.4%
経常利益	1,134	1,062	- 6.4%
当期純利益	851	797	- 6.3%

(単位:百万円)

■ ユーロ建てでは売上高・経常利益も前年比プラス

## ■ ユニットコム(単体)

	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期	対前年比
売上高	29,395	29,881	+ 1.7%
経常利益	667	42	- 93.6%
当期純利益	397	△ 260	—

(単位:百万円)

■ パーツ販売低迷で実質減収。店舗関連の特損計上。

## M&amp;Aや新規事業に伴う借入が増加

## ■ 連結キャッシュフロー

	2012年3月期 通期	2013年3月期 通期
営業活動による キャッシュフロー	△ 1,321	△ 1,192
投資活動による キャッシュフロー	△ 1,175	△ 839
財務活動による キャッシュフロー	△ 916	1,479

(単位:百万円)

## 前年との比較

- 不動産事業開始に伴い  
棚卸資産が増加
- グッドウィルを買収
- 短期借入金を増加

## ■ 財政状態

	2012年3月期 期末	2013年3月期 期末
総資産	36,916	42,251
純資産	16,904	17,928
自己資本比率	44.7%	41.8%
現金及び現金同等物	9,554	9,445
有利子負債	10,795	14,262

(単位:百万円)

## 前年との比較

- グッドウィル買収により  
総資産増加
- 投資資金、運転資金の借  
入のほか、旧グッドウィル  
分の借入も増加

## 配当の状況

## 当期純利益予想は未達ながら、配当は据え置き

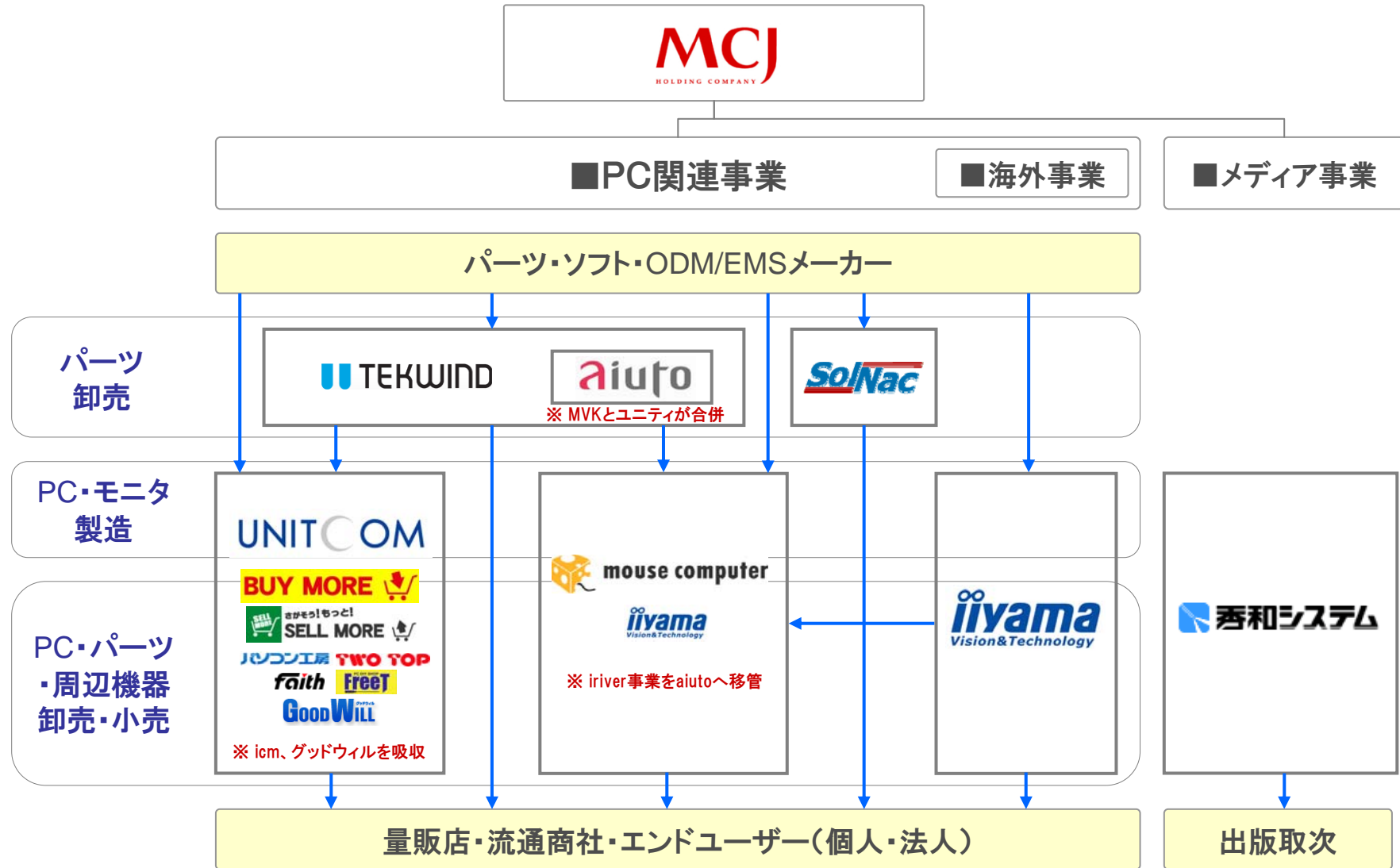
	2011年 3月期 (実績)	2012年 3月期 (実績)	2013年 3月期 (予定)
年間1株当たり 配 当 金	305円	5円14銭	3円26銭
配 当 性 向 (連 結)	10.0%	15.0%	15.6%
純資産配当率 (連 結)	1.0%	1.7%	1.0%

(注) 2011年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割

## ■ 経営方針・事業体制 及び2014年3月期の見通し

グループ体制

■孫会社を再編し、国内連結子会社は6社に



## ■市場環境の変化に適応しながら、収益性向上を図る

2013年3月期

中長期的な成長に向けて、内容を伴った増収を達成する

- ▶ 伸長中の法人向けビジネスの更なる拡大・強化
- ▶ 小売部門はM&Aによる規模拡大を通じて再強化
- ▶ 既存各社における新製品・新事業への取り組みを継続するとともに、M&Aによる新規事業分野参入も引き続き検討

- 法人向けビジネスは連結売上の約1/4を占めるまで伸長
- 一方、パーツの店舗販売が急減
  - ユニットコムを経営体制を刷新し、店舗再編を実行
- 店舗再編の一環で、不動産事業を開始
  - その他、新規事業を育成中

2014年3月期

収益性向上を目指し、構造改革、事業モデル見直しを推進する

- ▶ 店舗再編を含む小売部門の各種改革を引き続き実行
- ▶ グループ横断での事業・機能の配置最適化(シナジーの最大化)
- ▶ 法人向けビジネスの更なる拡大・強化(新製品・サービス含む)
- ▶ 既存事業に囚われず、新規事業を育成・獲得

## 小売事業

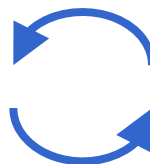
## トップの陣頭指揮により、収益改善が進行中

UNITCOM

パーツ店舗販売不振に伴う業績悪化に対し、昨年11月より弊社代表がユニットコム代表を兼任し、各種改革に着手

## 構造改革

- 採算性向上のための店舗統合、不採算店舗の閉店
  - ✓ 秋葉原・大阪日本橋地区の店舗を統合・再編
  - ✓ 採算性改善の見込めない12店舗を閉店（今期分含む）し、不採算店舗を一掃
- マウスコンピューターとの機能連携強化
  - ✓ 製品企画～仕入
  - ✓ 共同製造体制へ移行中（6月中旬に完了）
  - ✓ 修理は統合済みで、6月中旬に新拠点へ移転



## 事業モデル見直し

BUY MORE 

- 統合店舗「BUY MORE」
  - ✓ ユニットコム下の複数ブランドを統合
  - ✓ 秋葉原本店とアウトレット館へ再編


 SELL MORE 

- リユース専門サイト「SELL MORE」
  - ✓ 5/20 OPEN <http://www.sellmore.jp/>
- 不動産事業を開始し、閉店店舗を転賃
  - ✓ 今期より、売上高・営業利益に寄与



代理店事業

# サーバー関連等、法人向け製品群を拡充



## Nowing SERVER



インテル® Xeon® プロセッサ搭載。Windows Server 2012 Essentials 搭載。コンパクトな筐体。HDDフロントアクセスに対応。SMB向け。

インテル® Xeon Phi™ コプロセッサ搭載サーバー  
スターターキット



インテル® Xeon Phi™  
コプロセッサ 5110P

インテル® Xeon Phi™ コプロセッサ 5110P 搭載。インテル® Xeon® プロセッサ E5-2600/4600 製品ファミリーとの相乗効果で、高並列化されたアプリケーション向けに先進の性能を提供。

Object Storage サーバー



1Uラックマウントに、3TB×12台＝36TB搭載可能なデータセンター向けストレージ。インテル® サーバーボードを搭載し、PCI-Expressに10G LAN カードやその他の拡張カードの搭載も可能。

## Estrade

スイッチ製品群



NW機器の台湾最大手OEM/ODMと提携。10G SFP+ x4ポート、1000BASE-T(RJ-45) x48ポートを搭載するAS4600シリーズ、フル10GスイッチAS5600シリーズを展開。



SMART Storage Systems社製  
法人向け高信頼性SSDを販売



Optimus  
世界最大容量1.6TBの  
SAS SSD



CloudSpeed  
MLC NAND採用ながら、  
高耐久性を実現した  
SATA SSD



XceedIOPS2  
eMLC採用のSATA SSD



Xcel-200  
SLC NAND採用で、動  
作温度 -40～85℃の  
SATA SSD

## 業績予想

## 減収ながら、利益率改善による増益を見込む

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	40,298	556	650	363
売上高比率	-	1.4%	1.6%	0.9%
対前年同期増減率	2.8%	32.8%	17.9%	△ 6.7%
通期	83,900	1,750	1,930	1,100
売上高比率	-	2.1%	2.3%	1.3%
対前年増減率	△ 1.9%	14.8%	11.1%	4.3%

(単位:百万円)

- 国内景気の改善期待はあるものの、楽観視はできないことから、国内PC市場は引き続き縮小するものと予想し、不採算店舗の閉店も予定されていること等により、減収を見込む
- 円安に伴い仕入価格の上昇が続くものと予想するが、収益性を重視した製品展開・営業活動を進めるとともに、構造改革や事業モデルの見直しを推進することで粗利率の改善を図り、各利益率の改善による増益を見込む

## 配当予想

## 配当性向15%により利益還元

	2012年 3月期 (実績)	2013年 3月期 (予定)	2014年 3月期 (予想)
年間1株当たり 配 当 金	5円14銭	3円26銭	3円32銭
配 当 性 向 (連 結)	15.0%	15.6%	15.0%
純資産配当率 (連 結)	1.7%	1.0%	—

## ■本資料取扱上のご注意

本資料に記載された業績予想および将来予測は、作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・記載したものであり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証し、または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行っていただきますようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用・転載等をご遠慮ください。

## 【お問合せ先】

IR担当

TEL:03-5821-7114